

社協ワーカーだより

No.61 平成29年10月

地域みなさんや関係機関の方々に向けて社協ワーカー（職員）の動きや社協の事業について情報発信するお便りです！！



発行：福岡市社会福祉協議会地域福祉課（TEL720-5356）
各区社会福祉協議会



～赤い羽根共同募金運動70周年記念～ 「赤い羽根ありがとうマップ」ができました！


あかげさまで70周年

共同募金の使い道を知っていただくための広報のひとつ

福岡市社協 HP
(共同募金会ページ)

として、皆さまから寄せられた募金が145の校区（地区）社会福祉協議会と、22の福祉施設でどのように使われているのかを、インターネット上の地図で紹介する「赤い羽根ありがとうマップ」を作成しました。



福岡市社会福祉協議会のホームページ（www.fukuoka-shakyo.or.jp）からご覧いただくことができます。地図上の （赤い羽根）をクリックすると、校区社協や福祉施設の概要が表示されます。さらにその中からアンダーラインをクリックすると下記のような画面が現れます。

～東区舞松原校区社協の例～



赤い羽根共同募金助成 イチオシ事業 平成28年度 東区 舞松原校区社会福祉協議会

舞♥myキッチン

なぜこの事業をしようと思ったの？

どげんかせないかん

朝食を食べていない子どもや、子どもだけで食事をしている家庭があることから、子どもたちに食の大切さを伝え、地域に子どもたちの居場所をつくるが必要と考えました。



どんなことをしたの？

どげんことしたよ

子どもとボランティアと一緒に昼食を作り、みんなで食べることで食事の楽しさを知ってもらいました。夏休みの宿題をしたり、子どもの居場所づくりにもつながっています。

開催日時は？
参加人数は？

- 開催日時：平成28年7月～8月の5日間
- 参加人数：利用者 平均55名、ボランティア 平均20名



参加者のコメント！

どげんやった？ 初めてカレーライスを作ったよ。包丁を使うのは難しかったけどできあがって、みんなで一緒に食べて楽しかったです。<小学生・女の子>

福岡市支会では、地域の会合等に募金のお願いに伺う際は、この「赤い羽根ありがとうマップ」を使いながら募金の使い道もご紹介しています。

ご希望の校区（地区）は福岡市支会または担当 CSW にご連絡ください。



ある福祉施設では商品の販売用車両を共同募金配分金で購入したことで『施設利用者（主に知的障害のある方）の工賃が従来の3倍以上になった』という事例も紹介されています！

「ふくおかライフレスキュー事業」を利用した高齢者支援の事例



一人暮らしで身寄りがなく、人との関わりが全くない状態で、ごみが散乱している部屋で生活していた高齢者Aさん（女性）。行政やいきいきセンターの職員が訪問しても、立ち上がれないほど衰弱しているにもかかわらず、医療・介護の支援を受けることを頑なに拒否していました。

いきいきセンター職員や民生委員、不動産会社の方などが安否確認を続けていましたが、お盆に見守りができない空白な期間ができたことで、行政から区社協に相談がありました。

区社協職員は民生委員などに状況を確認した上で、ふくおかライフレスキュー事業（※）による支援を考え、区内の社会福祉法人に協力を打診しました。そして、近隣の高齢者施設の職員がお盆期間にAさん宅を訪問し、安否確認や食料の提供を行いました。

専門職がじっくり本人の話を聞き「寄り添う支援」ができたことで、Aさんの頑なに拒否していた態度にも変化が見られ、お盆明けには病院受診や介護サービスを受けることを了承されました。こうして、社会福祉法人の強みや専門性を活かすことで、Aさんの危機的な状況を改善に導くことができました。

※ふくおかライフレスキュー事業

(<http://fuku-keieikyo.org/liferescue.html>)

今年度より始まった、県内の社会福祉法人が資金・人材・専門性を持ち寄り、生計困難者が抱える様々な課題を柔軟に解決していくための相談・支援事業。

平成29年9月時点で、県内239事業所が参加。



今月の 気（KEY）になる！！キーワード

「こころのABC活動」



近年、心の健康を維持するため、症状やその兆しが見られる前に、余暇などの過ごし方を少しだけ見直す「こころのABC活動」が注目されています。

ABCとは・・・

Act（アクト）・・・ 運動や読書などをして心身を活動的にすること

Belong（ビロング）・・・ 行事や地域活動、趣味の教室などに参加すること

Challenge（チャレンジ）・・・ ボランティア活動や植物の世話などへチャレンジすること



これからだんだんと寒くなってきて、体調を崩しやすい季節になります。身体だけでなく心の健康維持のため、日々の生活の中に「ABC」を取り入れてみませんか？

写真を撮るために外出する、子どもの活動に積極的に関わる、簡単な家庭菜園を始めるなど日常生活の中にできることを取り入れて、普段から予防していきましょう！！

ふくおかライフレスキュー事業がスタートします！

今年から開始した「ふくおかライフレスキュー事業」は、地域の社会福祉法人が団結し、それぞれの専門性や資源を活かして、既存の制度では解決できない課題に対して支援を行う取り組みです。

先行したモデル事業（糸島、粕屋）では、「今日明日食べるものがない」「電気・ガス・水道が止められた」「失業した」など、地域の様々な相談に、各施設に配置されたサポーターが現場に行き、自分の目と耳で確認しながら対応し、各種制度に繋いだり、緊急時には現物給付する等、生活が安定するまでの支援を行いました。

西区でも、すでに約10か所の事業所が参加を表明しており、横の連携を深めるため、連絡会を立ち上げています。

お問合せ：西区社会福祉協議会 TEL：895-3110